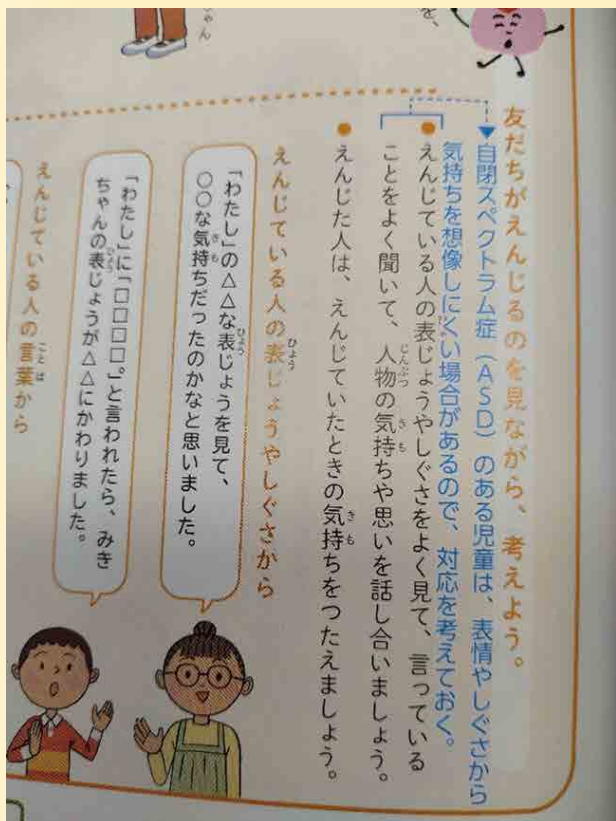


第 143 回 『わかるように伝えていきますか』

香川大学教育学部 特別支援教育領域 教授

香川大学教育学部附属幼稚園、園長

香川大学学生支援センター バリアフリー支援室 室長 坂井 聡



特別な教科道徳の教科書の指導書についてこんな青字が入りました。特別な支援を必要とする児童生徒のことを意識した上で授業を進めてもらいたいという趣旨で入ったものです。大きな一歩だと思えます。

学校には多様な子どもたちが在籍していますが、特に道徳の授業では書いてある内容がイメージできなかつたり、字義通りに取ってしまうために理解できなかつたりすることがあるようです。

そこで光村図書の道徳の指導書では、多様な子どもがいることを前提に、誤解やユニークな解釈をする場合がある可能性がある場合に、配慮する事項について青字で示しているのです。「こうでなければならない」という一方的な見方をするのではなく、色々な考えをもつ子どもがいるということに教師が気づいて指導することができるようにと考えられたものだと思います。

発達障害等があつて、理解の仕方や解釈の仕方が主流と言われている人たちと違った場合、しんどくなる子どもがいるのではないかと思います。その結果排除されたり、自己肯定感が下がったりすることもあるでしょう。このようなことがあつてはならないのです。指導する側が、子どもを理解して指導する必要があるのです。

学校は、子どもたちに夢と希望を与えるところなのです。一歩進んでよかつたと思えます。子どもたちへの理解が進みますように。

～坂井聡先生のご紹介～

《プロフィール》

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学科研究科修了。香川大学教育学部附属養護学校などの養護学校教諭を経て現在、香川大学教育学部特別支援教育領域 教授。1997年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞を受賞。